



# 学校だより



2019年9月27日

横浜市立港南台第一小学校

10月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp

Tel 832-0210

Fax 832-7771

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai/>

## 「One for all, all for one.」

校長 瀧田 健二

朝夕は涼しくなり、秋の到来を肌で感じる季節となりました。曼珠沙華の鮮やかな赤に目を奪われます。地域・保護者の皆様には本校教育活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

子どもたちは、10月19日の「一小なかよし運動会」に向け、演技・競技の練習に一生懸命です。友だちとの教え合い・励まし合い・高め合いを目のあたりにできる時です。子どもたちのひたむきな姿は輝いて見えます。9月25日の朝会では、運動会練習に頑張っている皆さんを見て、とてもうれしいと子どもたちに伝えました。さらに、運動会を陰で支えている各係の仕事にも頑張っている高学年の人も見たいと伝えました。運動会はたくさんの人と様々な役割に支えられていることに気づいて、運動会まで頑張りたいと思います。

今、日本ではラグビーワールドカップに沸いています。横浜の日産スタジアムでもその決勝戦が行われるので、横浜でも盛り上がっています。そこで、話題になっているラグビーにちなんだお話をしたいと思います。「One for all, all for one.」という言葉聞いたことがありますか。この言葉はラグビーのチームプレイの精神を表す言葉として有名ですが、実は、ラグビーというスポーツから生まれた言葉ではありません。その由来については、別の機会にお話しできればと思います。

ラグビーではメンバーそれぞれに役割があります。チームのためにひたすら耐えながらスクラムを組む人もいれば、パスを回して華麗なステップを踏んで走り抜け、トライして得点する人、その後のゴールキックを決める人もいます。ラグビーの選手たちの中では、得点はトライやキックした人だけのものではなく、みんなが協力してチームで手に入れたものであるという思いが強いそうです。「One for all, all for one.」の言葉には、「チームのために責任を持って、全力で自分の役割を果たす」という強い思いと、「チームが自分を必要としてくれ、自分はみんながいるからこそチームの一員として頑張れる」という思いが込められているようです。これは、チームで戦うすべてのスポーツや、スポーツでなくても、チームで協力して取り組む様々なことに当てはまると思います。

クラスや学年で、学習や行事に向けての計画・準備に一生懸命取り組んでいる子どもたちには、この言葉「One for all, all for one.」が当てはまるはずです。「一人ひとりがクラスや学年というチームのために」、「クラスや学年が一人ひとりのために」、子どもたち一人ひとりが自分の良さを生かしながらチームの一員となって、素晴らしい感動を味わってくれることを期待しています。

